
明日なき世界

ジャッカル東西田

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日なき世界

【Nコード】

N4386Z

【作者名】

ジャツカル東西田

【あらすじ】

2012年12月

世界が滅びる……

(前書き)

世界が終わる日にはきっとこんな風景が何処かで繰り広げられているはず

世界が滅びる願望とモツ鍋と熱き漢たちの物語

マジで世界滅びろ！よろしくお願いします

小さな屋台のカウンターに置かれたラジオからは前世紀の「戦争」をテーマにした曲が流れてきていた

時刻はすでに23時を過ぎている

12月の寒風の吹きつける中、この様な吹きつ晒しの屋台に寄るのはよほどの事情のある者だけに違いない
事実多くの者が自宅で家族とくつろぎ、たとえ仕事を終えてから一杯やるにしても暖かいチェーン店の居酒屋などに赴いていた……

店主であろう禿頭の男（つるりとした頭にタオルをねじり巻いている）は

「今日はこれ以上のアガリは見込めない」と考えているのか、カウンターの”内側”で石油ストーブに手を翳しながら呑気に新聞を読んでいる

そして、カウンターの”外側”では果たして「客」なのか否か……
首に【マフラーだけ】を巻いた全裸の男が独り。古びた木目にだらりと頬を尽きほとんど空になったコップの酒を横眼で眺めていた

「マスターは……どうして逃げなかったんだい？」

唐突に、今までうずくまっていたマフラーの男は無気力に酒を眺めることにも飽きたのか顔を上げそう内側の男に尋ねた

マスターと呼ばれた男（タオルを頭に捻じっている）は、新聞に目を通したまま、さして変わった問でもないかのように淡々と応える

「まあ他にやることもありやせんですしね。嫁も娘も離れちまって守るモンも無いですし……地球が終わるったって何も今までやってきた何かが変わる訳じゃあねえんだ。だったらあんだ、いつも通り此処でモツ作ってる方がよっぽど割に合ってますわ」

「奥さんと娘さんはどこに？」

「なに元嫁と娘ですがね。今は嫁の実家の方で世話になっとる筈ですわ」

「……………」

男は個人情報プライベートに深入りしすぎたと感じたのか何も言わず、只目の前の安酒を空にした

コトコトと会話を喪った漢たちの代わりに釜の底が煮える音が静寂のようにその場を治める

暫くして

「マスター、鍋、ひとつ」

言葉を区切るようにして全裸は肴を頼んだ

「へい！モツ一丁？」
店一杯に響き渡る声。禿頭の店主は威勢のよい声を上げると同時、手は既にモツ鍋を作り始めていた

火にかけっぱなしの隣りの大釜から一人用の鍋に牛筋とスープを移し、新たに生の牛モツを投入して火を入れ直す
再び煮たってから、キャベツ・牛蒡・拉？とを加え五分間煮込む
最後にこれでもかとニラを加えて数分で火を止めて完成

この作業を男は――光る頭の男――は26年やって来た
風雨の夜も、雪の降る夜も、W杯の夜も、娘の誕生日の夜も、妻と離婚したその夜も……そして現在（世界の終わる日）ですら

「へい、お待ち」
ゴトリ。と全裸マフラーの前に置かれたモツ鍋にはそれだけの重みがあった

しかし、全裸にはそんなことはわからない。もともと空気を読めない男だ

「はふッ、ハフッ、あつ！」
などと独り。ただ美味そうにモツを、ニラを、麺を、鍋を喰らう

一見……モツ鍋は素材の個性が強すぎて互いを殺し合っているように思えるが、実際はそうではない

その灰汁、コク、情熱パッションは何者にもSATSGAIされることなく
“味”の中に生き続ける
互いの意思が互いの意思を継ぎ、ひとつの鍋のなかでそれは意志へ
と昇華される

そうして、その「個性」が
クドイ、濃い、噛みきれぬ、祝福された【個性】が悦んでいる

そうモツ鍋とは世界だ！
奇蹟に溢れた人間の世界だ？

これは世界の終わりの物語
モツ鍋と店の主と全裸マフラー男の物語……(to be con
tinued)

(後書き)

ありがとうございました

後半がウンコなので後で手直し致します

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4386z/>

明日なき世界

2011年12月15日01時47分発行